



甲南ふれあいの館

甲南中央運動公園の一角にある古い木造の建物をご存知でしょうか。

この建物は、甲南第三小学校の講堂を移築して建てられ、住民の方々から寄贈していただいた昔の農具や生活用具などの民具資料を保存、展示する「甲南ふれあいの館」と呼ばれる施設です。

収蔵されている民具は、約4,500点を数え、施設内の民具展示室では「里山の暮らし」と題して常時一般公開してきました。平成13年には、地元住民が集い、『民具友の会』が結成され「昔の暮らしを今の子どもたちに伝えたい」という思いから、年間数回の企画展と体験学習を継続して開催しています。

現在、開催している特別展「職人の道具と技」では、明治から昭和にかけて甲賀の地で活躍した職人たちの道具を展示しています。巨木を腕一本で切り倒し、建築の柱や板に製材する斧や鋸のこぎり、茅葺き屋根の軒先を切り揃えるヤネバサミ、檜はの皮を剥がし、切り揃えるひわ檜皮包丁、桶作りで使用する杉の丸太を叩き割るなた鉦などの道具約700点です。

これらの道具はよく使い込まれ、長年職人が大切にしていたことがわかります。職人の技が生み出す「モノ」もまた先人たちは大切にしてきたのです。

インフォメーション

特別展「職人の道具と技」

開館期間 ● 1月30日(日)まで

開館時間 ● 午前9時から午後5時まで(入館無料)

休館日 ● 月曜日

踊り番を受けもつことになっていきます。この踊りは、中世の囃子物の系譜をひく風流芸能で、祭礼に華やかな意匠の作り物や仮装を施し、これに賑やかな囃子をつけて構成されるもので、雨乞いや疫神払いを目的としていました。ケンケト踊りの大きな羽冠は、この風流芸能の特徴ともいえるのです。滋賀県内では、湖東や湖南地域で同じ名称をもつ祭りが伝承されており、「近江のケンケト祭り・長刀振り」として国の無形民俗文化財に選択されています。

甲賀市には、古くから伝承されてきた祭りや芸能がたくさんあります。皆さんも地域の伝統行事に親しむ機会をつくってみませんか。

水口歴史民俗資料館

曳山に見る鳥

甲賀市役所水口庁舎の近くにある水口歴史民俗資料館は、「水口祭と曳山」「甲賀水口の歩み」「甲賀水口の暮らし」をテーマに旧水口町の歴史民俗を展示する施設です。

ここでは4月20日の水口祭に出される実物の曳山を見ることができ、今年度は東町の曳山が展示されています。この曳山にも西にちなむ飾り物が彫られています。

曳山にはさまざまなめでたい動物、故事や神話にちなむ人物などの彫刻があります。東町の曳山は、16基ある水口

の曳山の中でも装飾性に富むもので、正面の唐破風の上(鬼板)に本一本丁寧に彫刻された羽を広げる孔雀が取り付けられ、唐破風の下(懸魚)には鳳凰が飾られています。鳳凰は麒麟・亀・竜とともに尊ばれた想像上の瑞鳥で、東町の曳山では羽を広げ、首を曲げ斜め下を見る構図をとっています。またダシ(作り物)が乗る露天部の下には正面、側面ともに多くの鳥を見ることができ、そのほか竜や猿、獅子、亀などの彫刻がたくさん飾られています。



さて、今年も酉年です。曳山に住む鳥を水口歴史民俗資料館に探しに来てみませんか。